

日に日に

紅葉深まり



岳山は秋色一色

でも今年に残念!

コロナで揺れた令和3年もういよ残すところ二ヶ月となりました。多くのお店が自粛外出の波に飲み込まれ、営業もままならぬ事態が続きました。幸い無我久庵は常連のお客さまに支えられ、例年の秋と変わらぬ賑わいでした。オーナーの道楽で営業している店ですが、商売勘定抜きでのもてなしたのがこのコロナ禍を乗り越える力になったのかも知れません。早朝から板サンと妻とで連日の消毒・換気・清掃となかなか大変な一年を過ごしてきました。三密回避の観点から、混雑時間は多くのお客様にお帰りを願って対応して参りました。降雪の時期までは、未だ未だ混雑が予想されます。

案内板

会員のための得々コース
11月から3月までサービス



11月 秋野菜特別ランチ
お食事メニュー(和風中華そば)
■冬を装ううつわ展
陶芸得々コース開設
珈琲無料優待券贈呈
新酒販売予約受付

12月 冬休み陶芸体験企画
お食事メニュー(和風中華そば)
陶芸得々コース開設
親子陶芸体験
新酒販売解禁 (12/31)

1月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー(和風中華そば)
格安ランチ付き陶芸体験
■新春を彩るうつわ展
新酒を愛でる宴(要予約)

2-3月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー(和風中華そば)
格安ランチ付き陶芸体験
雪を観る茶会と鍋会食

の得策です。今年、早めか遅めのご来店が二度、泉ヶ岳の紅葉を探訪して参りましたが、残念ながら紅葉は見所がありません。その代わりとって、足下の草々に目をやってみてください。カヤ・タデ・シロバナ・ツリフネソウ・ゲンノシヨウコと夏の盛りから初秋に花を咲かせた野草が赤・黄・橙・紫に色づき今こそ「くさもみじ」の世界です。

健康野菜・販売中
予約も受付中



数年前から泉ヶ岳の山裾で育つ野菜を、山小屋の畑で受粉させ、採種した無我久庵だけの野菜です。完全無農薬・有機肥料土壌改良の健康野菜です。形の揃い・虫食い・大量に欲しいというご注文も多いですが、有機栽培の為のリスクです。味が勝負・新鮮度が勝負の高原野菜です。少量ですが、虫食いの形も悪さ大地と山裾の気象の産物だと、ご理解下さい。十一月中旬まで販売です。

大晦日・限定・要予約
歳納め・年越しそばの会

今年も新企画で開店

十二月三十一日・十一時~十七時
年越し蕎麦セット(七百円)

ざるそば 純生甘酒
山菜小鉢 ヘルシーサラダ
お口取り 風呂吹き田楽
お新香



進品
招福くぐり呑み(陶製・風雅杯)
宮城の伝統歳神 (御正月様)
当日より新酒・岳冠雪販売開始
岳冠雪・600円

(要予約)
陶芸体験 得々コース
十二月より三月まで
静かな冬こそ作陶の時

期間 十二月~三月末
陶芸体験 千五百円
ランチ・ドコース 二千円
(陶芸体験とランチのセット)
ライトコース 千八百円
(陶芸体験とそばのセット)



親子陶芸体験 三千円
(ドリンクサービス二本)
二日前迄に予約が必要

新酒予約受付
岳冠雪 九月醸造開始

本数限定・予約は早めに
5本購入で多様途皿進呈

十二月三十一日・歳納め年越しそばの会と同時に、発売解禁です。雪洞の中で醸成し、濃いうま味が自慢です。五本セットでお求め頂きますと特製、一器多様皿・一ヶ進呈
価格 500ml・六〇〇円
予約受付・十一月から受け付けます。
お早めにご予約下さい

四季草

先月の仲秋の名月の宵。夜半に目覚め三階の窓を細めに開けて、山裾の夜景に目をやりますと、都会のマガギはびつくり仰天。ナント目の前は完全な銀世界。この時期に積雪?寝ぼけまなこでタイヤチェイン、除雪機のメンテナンス、雪かきの用意と頭の中は一瞬パニックです。登山歴七十年の山男・マガギはここで一瞬冷静になります。この気温で降雪は何かの勘違いと思いき直し、良く観察すると見えているものは月光に浮かぶ山里の風景。月光は白光、陽光は黄光と呼ばれ、時として見る者の目をアザムキます。一生に一度の大惨事を前に、人は「夢であって欲しい」と願います。耐えられないほどの出来事を前にし、人は「ウソであって欲しい」と願います。テレビの「どっきり」がそれを逆手にとり、アールカッタと嗤いを誘います。かの国の指導者は、真実を暴かれ国民からそれを迫られると、云われていることはフェイクニュース、まったくのデマだと豪語します。我が国の司法を守る大臣は、大罪を前にしてそのような事実はありません。：：：：一年以上訴え続けました。やがて皮肉にも司法で裁かれる場に出てきて、選挙法違反の罪を簡単に認め謝罪しました。最近ではウソが真実は、時間と膨大な費用を失ったのに判明します。国民を巻き込んだ慶事(?)

ひとりの若き女性が口を開きました。事実ではない事の報道に心を病みました。いわれない誹謗中傷で私は真実を話せませんでした。：：：：：：：：：：：：：：：それは誹謗中傷と楚々としてかたる女。都会のマガギは環境学の研究者の端くれですが、科学する者は「見えているものは真実か?」を問い続ける事だとの教えを今も守っています。真摯に真実を求めれば時が真実を明らかにするでしょう。「だまし続けて欲しかった」の、歌謡曲もありましたか。

ゆとり炉無我久庵 泉ヶ岳山麓
陶芸教室ゆとり炉 長命ヶ丘
泉岳窯ゆとり炉 泉ヶ岳離宮